

## 定期検査中の 6 号機使用済燃料プールにおける異物の発見および回収について

### <概要>

#### (事象の発生状況)

- ・ 平成 22 年 11 月 1 日、定期検査中の 6 号機の使用済燃料プールのキャスク置き場において、プール底部にボルトおよび板状の異物らしきものを発見し、回収しました。
- ・ 回収した異物は、ボルト 1 本、ゴム状の板 1 枚でした。

#### (今後の対応)

- ・ 回収したボルト等の特定を含め調査します。
- ・ 確認されたボルト等による使用済燃料等への影響はないものと考えております。
- ・ 引き続き、使用済燃料プールへの異物混入防止対策を徹底してまいります。

#### (公表区分)

- ・ 本事象は公表区分Ⅲ（信頼性向上のために公表する事象）としてお知らせするものです。

詳細は以下のとおりです。

### 1. 事象の発生状況

平成 22 年 11 月 1 日午後 2 時 20 分頃、定期検査で停止中の 6 号機（沸騰水型、定格出力 110 万キロワット）の使用済燃料プールにおいて、次回定期検査の準備作業のため、当社社員が水中カメラでキャスク\*置き場周辺を確認していたところ、キャスク置き場の底にボルト 1 本および板状の異物らしきもの 1 枚を発見しました。

当日午後 4 時 40 分までに、発見したボルト等は掴み治具で回収しました。回収したものは、ボルト 1 本（直径約 1.6cm、長さ約 4 cm）、ゴム状の板 1 枚（縦約 10cm、横約 8 cm、厚さ約 0.8cm）であることを確認しました。

また、回収作業終了後、水中カメラにて同様の異物がないことを確認しました。

### 2. 使用済燃料プールに保管されている使用済燃料等への影響

キャスク置き場は使用済燃料プール内で区画された部屋になっており、確認されたボルト等が移動する可能性がないことから、使用済燃料等への影響はないものと考えています。

### 3. 今後の対応

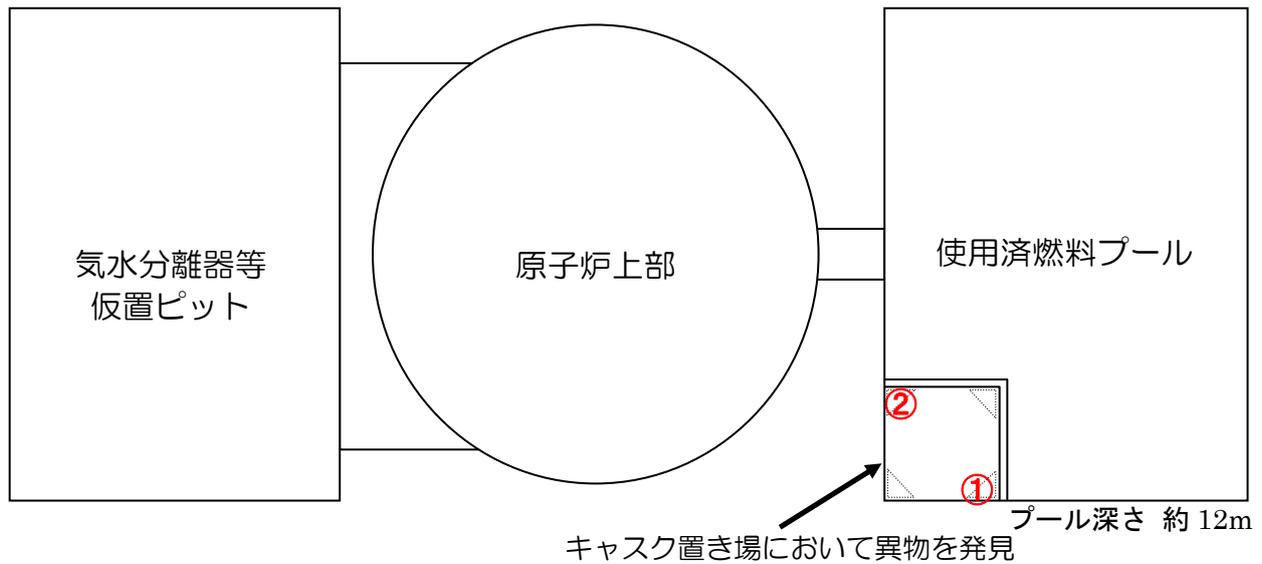
今後、回収したボルト等の特定を含め、詳細に調査します。

引き続き、異物混入防止対策を徹底してまいります。

以 上

#### \* キャスク

使用済燃料等の搬出のための容器。



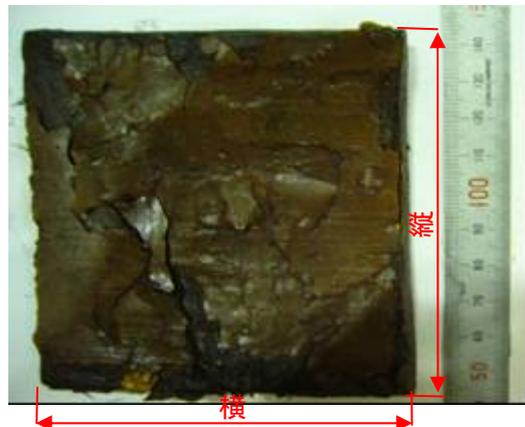
原子炉建屋6階平面図

回収された異物

①ボルト：1本（直径：約 1.6 cm，長さ：約 4 cm）



②ゴム状の板：1枚（縦：約 10 cm，横：約 8 cm，厚さ：約 0.8 cm）



6号機 使用済燃料プールにおいて回収された異物